

# ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

## RFID制服クリーニング管理システム

### 富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。富士通のパーパス「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこう」とは、SDGs達成への貢献を社内外に約束するものです。富士通は、長年にわたりテクノロジーを通じて社会に価値を提供してきたグローバル企業として、社会の変革に主体的に貢献する責任があります。世界をより持続可能にするために、社会に対して、より良い、かつスケールの大きなインパクトを与え、自社も持続的に成長していくことを目指しています。富士通は、2023年5月に発表した中期経営計画において、2030年に向けた価値創造の考え方を示しました。必要不可欠な貢献分野（マテリアリティ）の「地球環境問題の解決」「デジタル社会の発展」「人々のウェルビーイングの向上」への取り組みを通じ、SDGsへの貢献を目指します。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

### 持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs) を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

2030 年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

### 環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

### ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



### 「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定してきました。現在もGHG排出量の削減効果を算定し毎年報告しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>

環境貢献

検索



環境貢献ソリューション

### RFID制服クリーニング管理システム

当システムは、制服のクリーニング管理にRFIDを利用し業務の効率化を実現するソリューションです。某旅客会社様では従来、クリーニングする従業員の制服の受付・引渡し～返却・検収までの管理を伝票と手作業・目視で行っていたため、多くの時間と人を割っていました。当システムは、制服にRFIDタグを取り付け従業員番号と紐づけし、タグを一括で読み取ることで伝票や手作業・目視での確認が不要になり、業務の効率化が図れます。また、伝票が不要となることで紙資源の節約に繋がるとともに、業務効率化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献します。

### 「環境貢献ソリューション」の提供により、SDGsへ貢献します。

「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



気候変動に具体的な対策を

### RFID制服クリーニング管理システムによる業務の効率化と環境負荷の低減

#### システム概要

「RFID制服クリーニング管理システム」は、制服のクリーニング管理にRFIDを利用し業務の効率化を実現するソリューションです。

某旅客会社様では従来、クリーニングする従業員の制服の受付・引渡し～返却・検収までの管理において、クリーニング前後で枚数に相違がないかなど伝票および手作業・目視で確認していたため、多くの時間と人を割いていました。

当システムは、制服にRFIDタグを取り付けて従業員番号と紐づけし、タグを一括で読み取り、クラウド上でクリーニング工場とデータを共有することで、制服の枚数を正確に管理することが可能です。

これにより、伝票や手作業・目視による確認が不要になり、業務の効率化が図れます。また、伝票が不要となることで紙資源の節約に繋がるだけでなく、業務効率化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献します。

#### 効果

・CO<sub>2</sub>排出量の削減効果：約60% ※富士通フロンテック試算

・クリーニング品の確認に要する伝票と業務時間の削減 ※伝票 200枚/冊・600冊使用/年、納品確認回数 260回/年で試算

【導入前】①伝票（A4換算） 約30,000枚/年（伝票4枚でA4用紙1枚分と換算）

②納品確認業務 約173時間/年（週5回2人体制で手作業・目視チェック）

【導入後】①伝票（A4換算） 0枚/年（RFID一括読み取り）

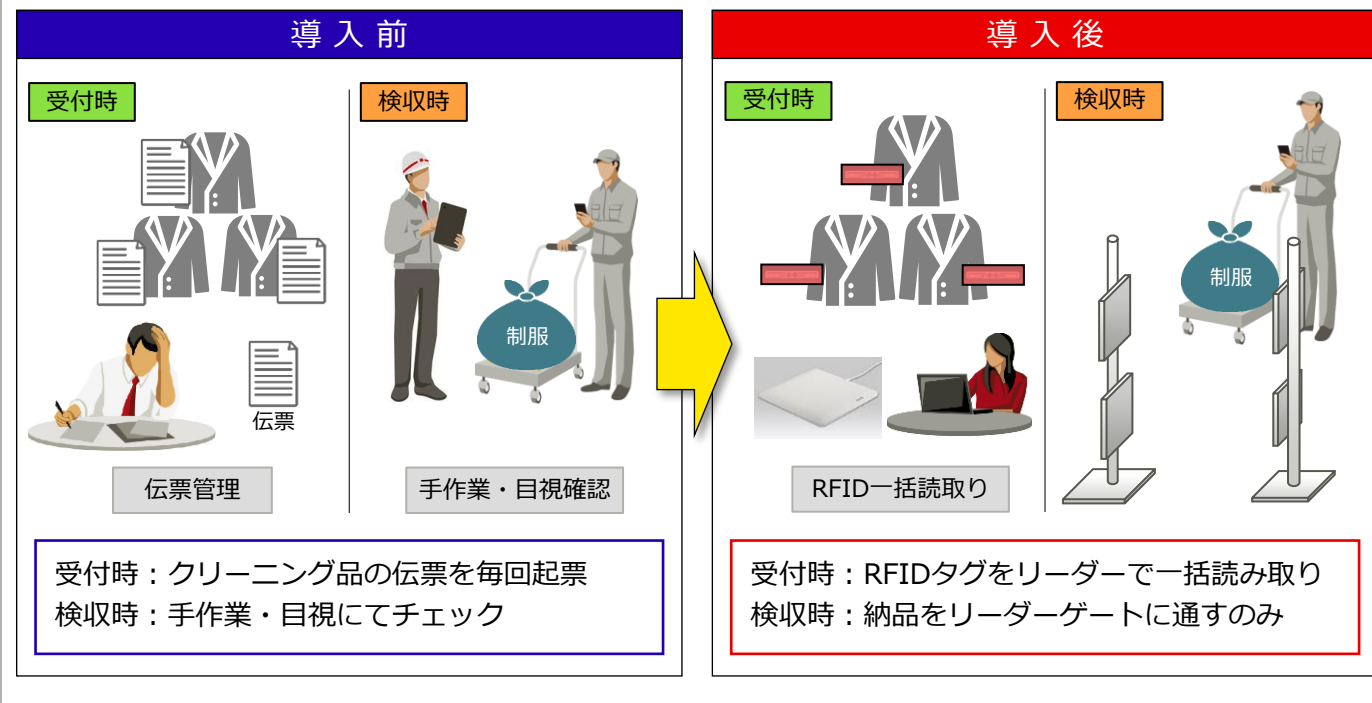
②納品確認業務 約4.3時間/年（週5回1人体制でRFIDリーダーゲートによる自動チェック）

➡①伝票は約30,000枚/年、②納品確認業務は約169時間/年の削減

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、システムの特性により結果が異なることを予めご承知おきください。

#### RFID制服クリーニング管理システムの導入によって、何故、制服のクリーニング管理業務の負担が軽減されるのか？

- ① 制服に取り付けたRFIDタグを一括で読み取ることで、伝票を用いたクリーニング品の受付管理が不要になります。
- ② 納品された制服をRFIDリーダーゲートに通すだけで枚数を確認でき、手作業・目視での確認が不要になります。



#### お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

フロントソリューション事業本部 CPS事業部

Webによるお問い合わせ： <https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>